

学びの空間 『キャンパス全体がラーニング・プレ イス (Commons) 』の中での図書館内 コモンスの役割と課題

2016.8.8 第25回京都図書館大会

立命館大学図書館 安東正玄



目次

- ▶ 大学図書館を取り巻く状況
- ▶ ラーニング・コモンズの登場と期待の背景
- ▶ 小さな成功
- ▶ キャンパス全体がラーニング・プレイス（Commons）の登場
- ▶ 図書館内ラーニング・コモンズへの課題
- ▶ 学生の動きと実態
- ▶ 「平井嘉一郎記念図書館」ラーニング・コモンズでの取り組み
- ▶ 今後の課題と可能性



大学図書館を取り巻く状況

- ▶ 大学を取り巻く環境からくる大学図書館への影響
- ▶ 大学図書館 固有の状況



大学図書館を取り巻く状況

▶ 大学を取り巻く環境 (私学)

- ▶ 18歳人口減少 (財政見通しが暗い)
- ▶ 大学のユニバーサル化 (「学習」が身につけていない学生の増加)
- ▶ 大学設置数の増加 (競争の激化) !

▶ 教育の質向上 : アクティブ・ラーニング、PBL(Problem/Project Based Learning)
▶ 地域貢献・連携 (社会的存在意義、フィールドワーク (地域学習) の場、寄付金・補助金)



大学図書館を取り巻く状況

▶ 大学を取り巻く環境（私学）からくる大学図書館への影響

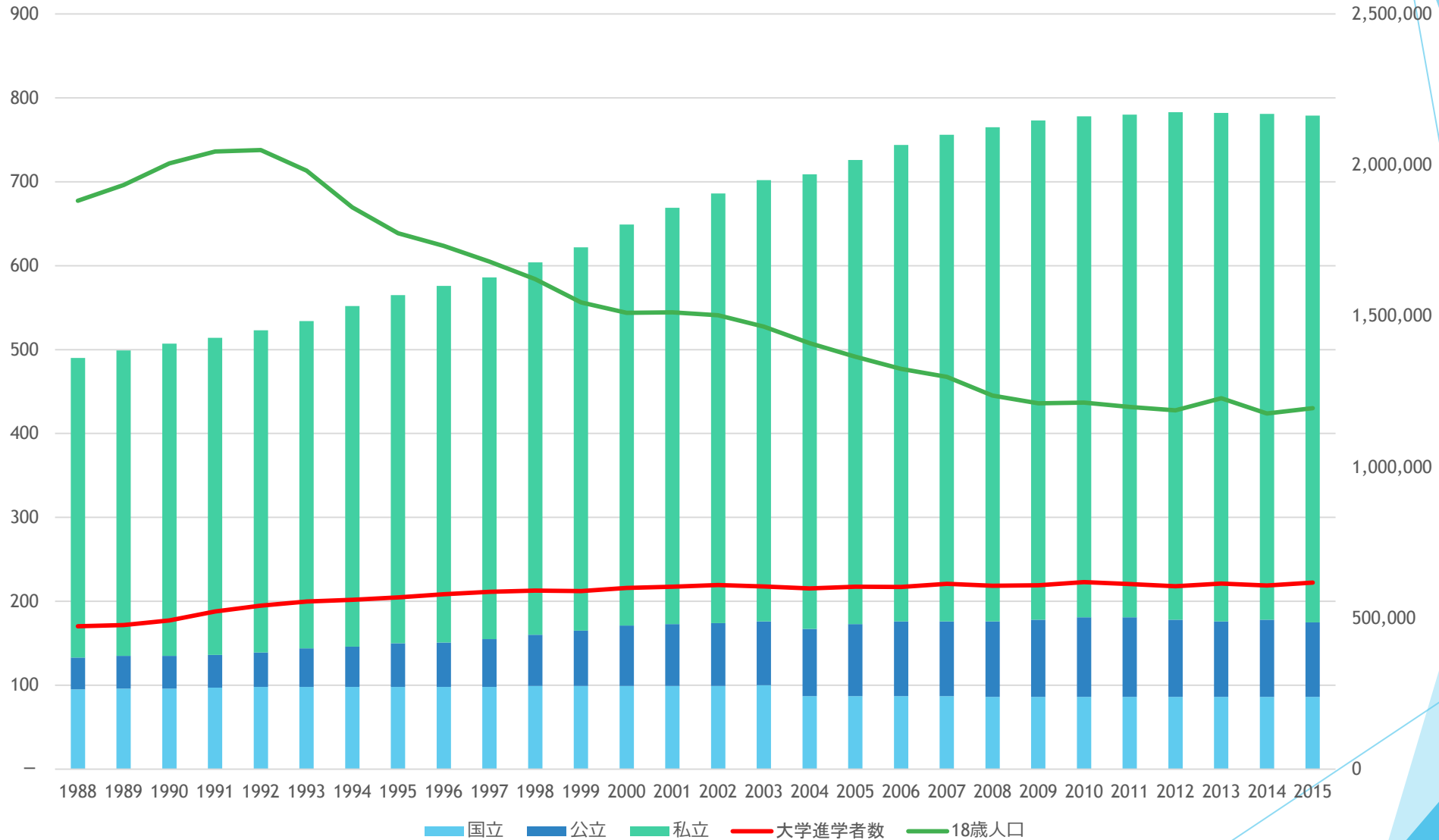
- ▶ 18歳人口減少（財政見通しが暗い） ➡ 予算の削減
- ▶ 大学のユニバーサル化（「学習」が身についてない学生の増加）
➡ 主体的学習者の減少：図書館利用者減
- ▶ 大学設置数の増加（競争の激化） ➡ 費用対効果の重視：
役に立たない機関は縮小・外注



▶ 実際に数字を見てみましょう！



大学設置数と18歳人口の推移



政府統計の総合窓口 (e-Stat)を元に著者が作成

私立大学入学志願者動向（2015年度）

入学定員区分	大学数	入学定員A	志願者数	入学者数B	差B-A
100人未満	34	2,493	6,169	2,366	-127
100人～200人未満	103	14,451	59,628	12,789	-1,662
200人～300人未満	85	20,357	79,730	19,136	-1,221
300人～400人未満	65	22,402	83,416	21,362	-1,040
400人～500人未満	46	20,379	65,449	19,964	-415
500人～600人未満	45	24,361	87,331	23,526	-835
600人～800人未満	40	27,081	95,496	25,499	-1,582
800人～1000人未満	33	29,215	177,161	30,203	988
1000人～1500人未満	58	72,321	413,113	78,756	6,435
1500人～3000人未満	47	96,702	877,163	106,982	10,280
3000人以上	23	133,935	1,568,846	146,478	12,543
合計	579	463,697	3,513,502	487,061	23,364

日本私立学校振興・共催事業団「平成27年度私立大学・短期大学等入学志願動向」を元に著者が作成

私立大学入学志願者動向（2015年度）

入学定員区分	大学数	入学定員A	志願者数	入学者数B	差B-A
100人未満					
100人～200人未満					
200人～300人未満	大学数	418校	(72.2%)		
300人～400人未満	入学定員数	131,524			
400人～500人未満	入学者数	124,642	(25.6%)		
500人～600人未満	定員充足率	94.7%	(6,882人不足)		
600人～800人未満					
800人～1000人未満	大学数	161校	(27.8%)		
1000人～1500人未満	入学定員数	332,173			
1500人～3000人未満	入学者数	362,419	(74.4%)		
3000人以上	定員充足率	109.1%	(30,246人超過)		
合計	579	463,697	3,513,502	487,061	23,364

7割の大学
3割の学生

3割の大学
7割の学生

▶ 大学図書館 固有の状況



大学図書館を取り巻く状況

▶ 大学図書館 固有の状況 (私学)

- ▶ 学術雑誌・電子ジャーナルの高騰 予算圧迫 (解約しかない?)
- ▶ インターネット普及とコンテンツのデジタル化
 - ◎ ネットで(ある程度)情報が探せる
 - ◎ 図書館員も知らないデジタルコンテンツが多数
- ▶ 外部委託化の拡大 「業務ノウハウ・蓄積」 消失
「教員とのつながり」 消失

<学生から>
自分で検索したもの以外を紹介してもらいたくて、レファレンスに相談したけど、結果は同じだった。
あれなら私でもできます。



ラーニング・コモンズの登場と期待の背景

▶ 生き残りをかけた大学政策

- ▶ 大規模講義 → 中小規模クラス（教員増）
- ▶ 新しい教育法の導入：アクティブ・ラーニング、
問題発見解決/プロジェクト型学習（Problem/Project-Based Learning：PBL）
- ▶ 授業外学習の重視（学生同士の学びの充実）
- ▶ 「見た目」重視（綺麗なトイレ、綺麗な食堂、綺麗な図書館）で新入生獲得
→ 「限られた財源」の活用の範囲（無駄なコスト削減と施設の併用活用）

➡ アクティブラーニングが実践できる空間が必要
（見た目も綺麗な方が、新入生獲得にも効果有り）



ラーニング・コモンズの登場と期待の背景

(学内の) 生き残りをかけた大学図書館政策

インターネットの普及→情報教育が重要：学術情報の電子化
キャンパス的に図書館は一等地にある事が多い
多くの情報機器を図書館内に設置（後に「インフォメーション・コモンズ」とも）
情報部門と連携



アクティブラーニングが実践できる空間が必要
図書館として、利用者呼び戻す取組み（教学部門と連携）



ラーニング・コモンズの実践！

- 2011年立命館大学衣笠図書館内に「ぴあら」ピア・ラーニングルーム登場
- ◆ 学習している学生の姿が見える。「学びが見える、学びに触れる、学び合える」
 - ◆ 学習形態によって、利用者が自由にレイアウト変更（可動式の机と椅子）
 - ◆ 長期滞在型利用者への対応（キャップ可能な飲み物持込OK）
→ 「図書の管理業務」中心から「学習支援」に大きくシフト

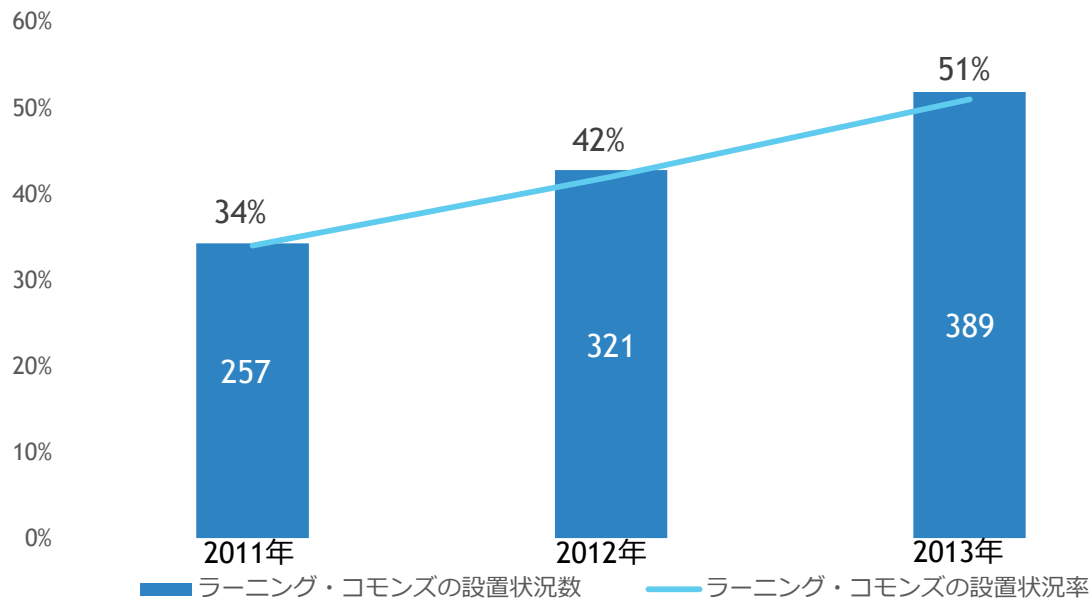


▶ 2011年はどんな年？



小さな成功

ラーニング・コモンズの設置状況



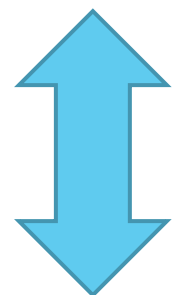
文部科学省
「大学における教育内容等
の改革状況について」から
作成

※ラーニングコモンズが調査対象は
2011年から2013年のみ
※2014年以降はアクティブラーニングの
調査に。。。

- ▶ 2011年 大学図書館の整備について（審議のまとめ）
－変革する大学にあって求められる大学図書館像－
- ▶ 2012年 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて（答申）
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～
- ▶ 2013年 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議のまとめ）

2013年 同志社大学 日本最大級のラーニング・コモンズ

- ▶ 2,550平米の日本の大学では最大級（当時）となる「図書館の外」にあるラーニング・コモンズ
- ▶ 教育組織が管理運営
- ▶ 教員組織による学習支援



図書館の中の「ラーニング・コモンズ」

いままで

- ▶ 「学びの見える化」はなんとなく成功！
- ▶ 忍び寄る「図書館にあるべき理由」。。。
- ▶ 教育視点の支援が不十分 ⇔ 空間だけの提供？



2015年 キャンパス全体がラーニング・プレイス (Commons) の登場：立命館大学OIC

Welcome to OIC Commons

立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)には、
多様な学びの共有空間(Commons コモンズ)がいっぱい。
「キャンパス全体がラーニング・プレイス」という環境だから、
いつでも、どこでも、誰でも学び合えるのです。
あなたもぜひキャンパスを歩き、その魅力を体験してください！

Variety

「学び」を選ぶ、
「学びたい」が広がる

OIC Commonsの各空間は、レクチャー、
ディスカッション、グループワーク、プレゼン
テーションなど、さまざまな学習スタイル
に対応。学生が主体となり、アクティブな学
びを展開できます。

Flexibility

カタチを変える、
「学び」が生まれる

OIC Commonsでは、学生自身が独自の
ラーニング・プレイスを創ることを追求。
Peer Boxやホワイトボード、テーブルなど
を活用し、学びの環境を自由に変えつつ、新
しいアイデアを導きます。

Network

ネットにつなぐ、
「学び」がつながる

OICの全館で無線LANにアクセスでき、学
生たちは多様な情報機器を活用できます。
自分のパソコンや共用パソコンを駆使しな
がら、ネットワークを通じてアイデアが発展
し、学びが強化します。



Concourse to future



全長200mのConcourse、OICのメインストリートから新しい日々が始まる！
キャンパスの1～4階に広がる、全長200m、最大幅18mのConcourse（コンコース）。
教室やCommonsなど各空間と有機的につながり、OIC Commonsの「幹」として機能している大空間です。
多様なアクティビティにあふれ、歩くたびに新しい感動に出会うことができます。



OIC Commons



このサークル
オモシロそう！
このイベントも
行ってみたいな



Wonderful Concourse!

- ①②イスやテーブルを随所に配置。自然と人が集い、会話が生まれます。
- ③通りを行き交う人々、座って話合う人々、読書や自習をする人々…オープンで爽やか、どこにいても過ごしやすいキャンパスです。
- ④壁一面のホワイトボードは、学生たちの書き込みで大盛況。OICの活気ある雰囲気が伝わってきます。
- ⑤Concourseの中央でポスターセッションを開催。どこでも学びの場になります。

OIC Commons

教室もコモンズの発想！



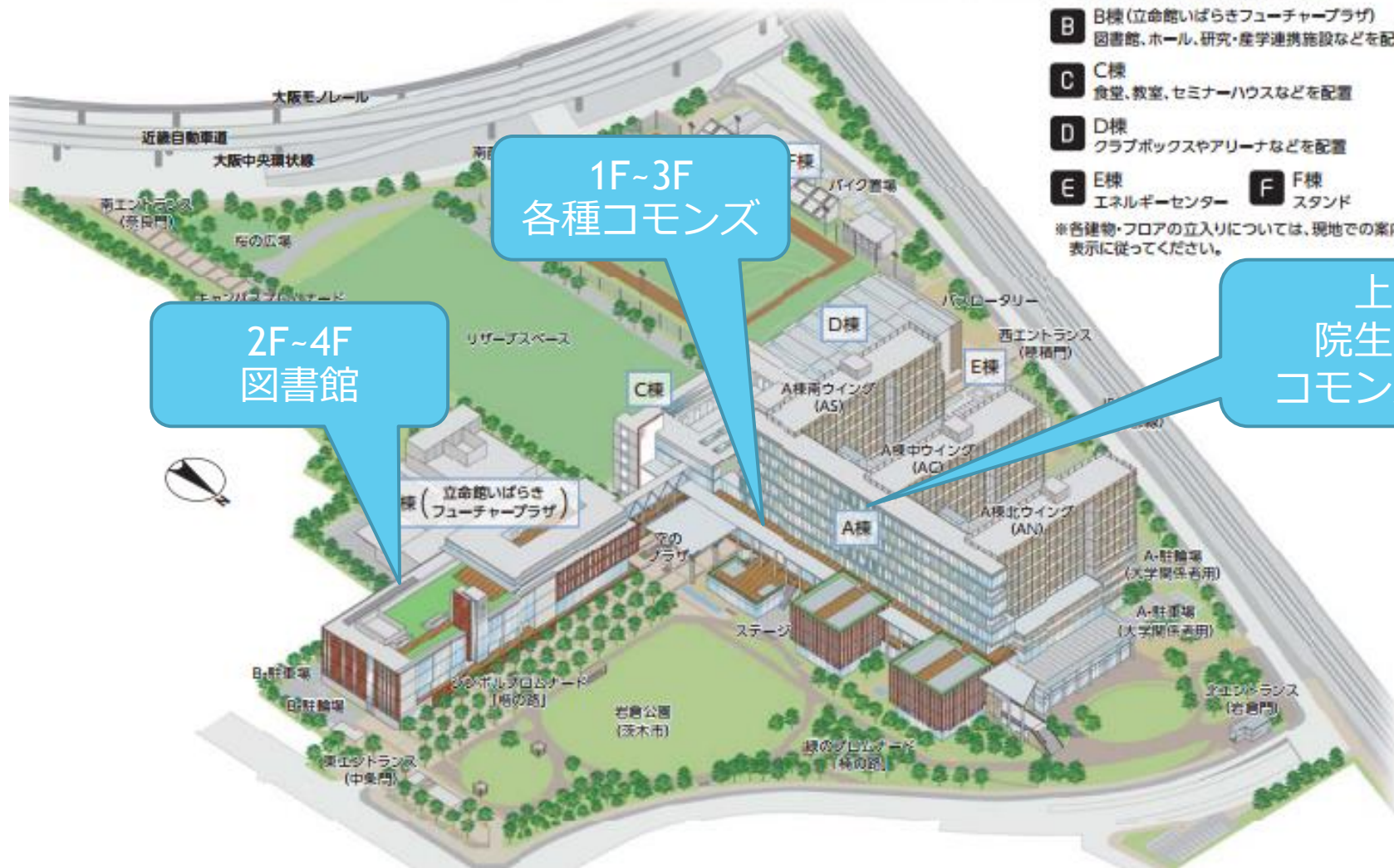
机、椅子だけでなく、
スピーカ、モニターも全て可動式
外からも授業の姿が見える
※教室には機器の収納庫が併設



120人収容の
大空間で
ダイナミックに
学びが広がる!

ラーニングシアター

OIC Commons



- A** A棟
教室、研究室、事務機能などを配置
 - B** B棟 (立命館いばらきフューチャープラザ)
図書館、ホール、研究・産学連携施設などを配置
 - C** C棟
食堂、教室、セミナーハウスなどを配置
 - D** D棟
クラブボックスやアリーナなどを配置
 - E** E棟
エネルギーセンター
 - F** F棟
スタンド
- ※各建物・フロアの立入りについては、現地での案内表示に従ってください。

2F~4F
図書館

1F~3F
各種commons

上階層にも
院生用、教員用
commons・スペース



日本各地のラーニング・コモンズを視察して作り上げた「コモンズ」

自治会BOX

- ▶ 交流の仕掛け
- ▶ コンコース（長い廊下）で、ポスターセッション授業
- ▶ 学生イベントに地域の人飛び入り
- ▶ 学生自治会スペースも学生と共に作ったコモンズ空間
- ▶ 地域・企業と触れ合うコモンズ
- ▶ などなど。。

企業や地域の人々と
笑顔あふれる体験を

- ①まちライブラリー／
- ②R-AGORA

OICでは市民や企業、自治体等と連携・協働したさまざまなプロジェクトを実施。キャンパスの枠を超えて多様なコミュニティで活動を推進することで、学生の学びの機会を拡げ、豊かな地域・社会づくりに貢献しています。

ホームページで随時公開中！

[OIC プロジェクト紹介](#)



OIC Commons 10



政策科学部
学生自治会エリア



図書館内ラーニング・コモンズへの課題

キャンパス・コモンズ担当者から図書館への投げかけ

- ▶ 図書館内のラーニングコモンズのあり方は今までと同じなのか？

単純にコピー（前と同じ）することの是非。コピーは劣化する。

- ▶ 市民利用の考え方

図書館のコモンズの市民利用の是非（例：まちライブラリ）

- ▶ 他の学習空間との差別化

図書館内コモンズの利用率低下の懸念

- ▶ 導線の一番遠い「はしっこ」が図書館

市民開放が優先



学生の動きと実態

- ▶ 思ったほど、図書館入館者数は減らなかった。

なぜ？

- ▶ 学生は空間を使い分けている。
- ▶ 図書館のラーニング・コモンズには必ず（学生）スタッフ人がいる。
- ▶ ルールを守って利用する。心地よい騒音。
- ▶ 同じ目的の学生が集う。



「平井嘉一郎記念図書館」ラーニング・コモンズ での取り組み

Academic Writing Support Desk

 ×  **文学部**

Peer Learning Room

文学部 アカデミック・ライティングの受講生のみなさん

図書館のびあスペースにて「アカデミック・ライティング」のTAがライティング支援を行なっています。

- 語彙力を高めたい
- 文章構成に自信がない
- 説得力のある文章を書きたい
- 参考文献の効果的な引用方法を知りたい

など、ライティングに関する質問ができる場です。

どんどん活用してみてください！

※レポートは紙に印刷して持参するのが効果的です。
※相談できるのは、「アカデミック・ライティング」の授業課題に関するものとします。
※成績評価に関係することは相談できません。

＜実施場所＞

(図書館・びあ)

文学部との
コラボ

国際関係学部
との
コラボ

Academic English Writing Tutorial

2016 Fall Tutorial Schedule

Date: June 21, 22, 24, 28, 29

Location: Library
Peer Learning Room

You need reservation and instructor's approval in order to sign up for the tutorial.


Peer Learning Room

 RITSUMEIKAN UNIVERSITY
Office of International Relations

IR Students: Please ask your instructor for details.

「平井嘉一郎記念図書館」ラーニング・コモンズ での取り組み

衣笠 Talkfest

Talkfestとは?
留学生や国内学生と気軽に交流できるのがTalkfestです。外国語、日本語のどちらでも交流できることができ、他学部、他学年とも交流することができます。また、今後、ゲームやスペシャルイベントも計画予定です。

実施日時

5/31 昼休み	6/9 5限	6/14 昼休み	6/30 5限	7/5 昼休み
-------------	-----------	-------------	------------	------------

開催場所

5/31, 6/14, 7/5 平井嘉一郎記念図書館1階 カンファレンスルーム (1階に面した辺りOK!!)	6/9, 6/30 平井嘉一郎記念図書館1階 びあら
---	----------------------------------

参加対象 本学の学生、院生、留学生
参加費 無料 (事前予約不要)

*Talkfestの詳細はHP <http://www.nihon-u.ac.jp/global/talkfest/>にて!
電話教育センター-国際教育センター1F

留学生支援団体
との
コラボ

図書館独自

ぴあらでキミが読んでる本を教えてください!!

みんなが読んでる本や超おもしろい本を教えてください!!
「ぴあら」に書いてある本でそんな本が読みたい
下の欄の中にシールを貼ってね!

Language	
英語、日本語、外国語などの 教科書	
教科書の語学文法テキスト	
英単語・熟語辞書・英和辞書 などの語学辞書	
英和辞書・和英辞書などの辞書	
辞書・辞典	

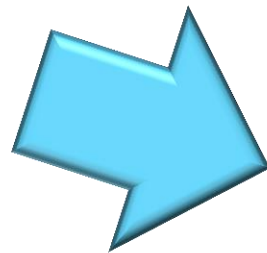
Academic Skills	
レポートや論文の書き方	
プレゼンテーションのスキル	
Word/Paperなどのスキル	
情報検索・活用	
英語のリスニングなどの 授業内容	

Beyond Borders	
旅行ガイドブック	
海外の文化や習慣	

Global 30	
記事	

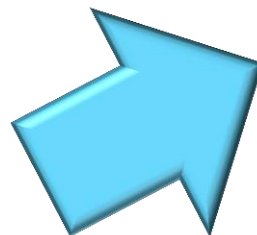
「平井嘉一郎記念図書館」ラーニング・コモンズ での取り組み

図書館秋祭り
(仮称) 検討中



学生に刺激を与え
交流・学びを促す

図書館の学習
支援機能強化



今後の課題と可能性

<学習空間としての図書館>

- ▶ 学部の枠を超えた学生のアクティブ・ラーニングの仕掛け
- ▶ 図書館（アカデミック）の空間と資料の特徴を活かした取組み

<学習支援としての図書館>

- ▶ 資料探しのレファレンスから学習支援を意識した
レファレンスのあり方
- ▶ 個人力量に依存した学習支援（レファレンス）から組織としての学
習支援環境の構築



➡ 「学生の成長」に寄与できる大学図書館

最後に。。。

キャンパス全体がラーニング・プレイス（Commons）の背景

私は、これからの立命館大学は「コモンズとしての学園」になるべきだと考えています。「コモンズ」というのは「入会地」「共有地」という意味です。村人たちが自由にコモンズに出向いて、薪や木の実やキノコなどを採集して生活の支えにします。ここでは、多くの村人が出会い、さまざまな情報が交換されます。いわば「学び合い」が行われるのです。これからの大学は、このような「学びの共有地」、つまり、学生のみなさんが学ぶために出向いて、いろいろな知見を刈り取ってくる場所となるべきです。立命館大学が、みなさんにとって、知的興奮を覚える「コモンズ」になることを願っています。

学長・法学部 教授 吉田 美喜夫

(2009年4月～2011年3月 立命館大学図書館長)

「未来を拓く ようこそ立命館大学へ 2016」より抜粋

最後に。。。その2

ARG岡本真さんの言葉から。。。。

- ▶ 大学図書館のラーニング・コモンズで学んだ学生が、社会に出て、公共図書館の利用者になる。
- ▶ 利用者の意識の変化も当然生まれる。
- ▶ 公共図書館に「ラーニング・コモンズ」がある事が当たり前前の時代が来るのも遠い未来の話ではない。

2016年6月19日 大図研京都ワンディセミナー

「つながる図書館・ささえあう図書館－公共図書館から見た大学図書館の世界」でのコメント
(大学図書館問題研究会京都支部主催)

ご清聴ありがとうございます。



立命館大学図書館イメージキャラクター「よむりす」

2011年誕生